

No.	基本構想	導入機能案
1	新「道の駅かんおんじ（仮称）」の理念や内容を市民にわかりやすく、積極的に周知するとともに、広く市民の理解と協力を得られるよう努められたい。	導入する機能については、適切に維持管理し、最大限活用もできるよう、開業後の運営を見据えながら具体化されたい。
2	新「道の駅かんおんじ（仮称）」の機能・施設については、子育て関連施設や地域産品販売施設など様々なことが考えられるが、具体的な検討にあたっては、市民や民間事業者、関係機関等と連携し進められたい。	周辺施設との連携や観音寺らしさを感じられる仕組みを取り入れることにより、特徴のある道の駅となるよう検討を進められたい。
3	事業費・財源については、イニシャルコストのみならず、ランニングコストを含めたライフサイクルコストも踏まえ、PFI方式など様々な手法を検討し、適切な手法を選択されたい。	道の駅は防災拠点となる施設であることから、観音寺市や広域的な視点から真に必要とされる防災機能を導入されたい。
4	西讃地域の基幹病院である三豊総合病院に近く、また交通量の多い国道・県道沿いを建設候補地とすることから、関係機関等と十分に連携し、交通環境を悪化させさないよう進入路を含めた交通対策について適切に対応されたい。	需要供給予測も踏まえた収支予測、費用対効果の検証を行い、規模も含めて適切に事業費・財源を検討されたい。
5	新「道の駅かんおんじ（仮称）」のみならず市内全域の活性化に資する道の駅となるよう、市内全域とのアクセス性及び導入機能等の検討を進められたい。	年齢や性別、障がいの有無などの多様性を尊重し、誰もが利用しやすい道の駅となるよう検討を進められたい。
6		導入機能や新「道の駅」かんおんじ（仮称）の運営、活用方法の具体的な検討にあたっては、運営事業者や市内事業者、関係機関等と連携し進められたい。